

市議会だより

No.220

令和3年2月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



12月
定例会 (11月30日～12月17日)

市長提出の議案43件、報告3件を
審議しました
主な議案は3ページ
審議結果は11ページ

請願3件を審議しました
審議結果は11ページ

議員提出の議案2件を審議しました
審議結果は11ページ

議員26人が一般質問を行いました
詳細は5～10ページ

委員会審査
詳細は4ページ

特集記事

● 議長室を訪問しました！
.....2ページ

↑ 三里浜砂丘地の オリーブ畑を視察

平成29年度から栽培を行っている三里浜オリーブ畑を視察しました。三里浜オリーブ生産組合の方から、栽培管理や商品化の状況について説明を受け、新たな魅力づくりに向けて活発な意見を交わしました。
そのほか、学校規模適正化及び北陸新幹線建設に関して、市内2か所を視察しました。

議長室を訪問しました！



市議会を代表する議長の仕事は、議会の議事運営だけでなく、陳情などに
来られた市民のみなさんのお話をお聞きしたり、各種行事等であいさつを行っ
たりと様々です。そんな議長の執務室をのぞいてみました。

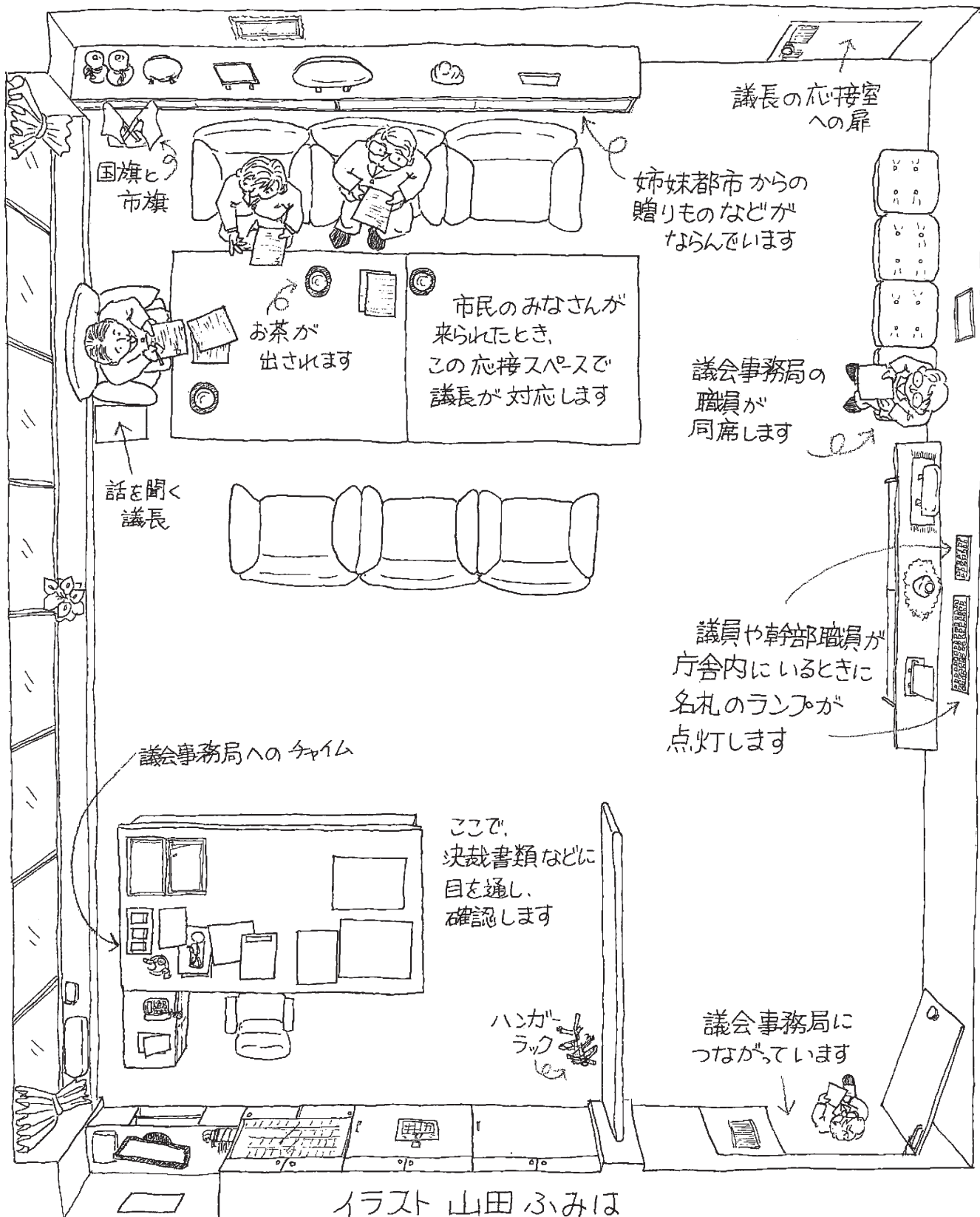


イラスト 山田ふみは

令和元年度 一般会計・特別会計決算総括表

(単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	106,038,084,211	103,604,780,430
国民健康保険	22,979,185,112	22,721,911,774
国民健康保険診療所	3,274,489	2,711,300
後期高齢者医療	3,548,577,322	3,547,859,028
介護保険	25,650,902,564	25,468,887,786
母子父子寡婦福祉資金貸付	8,073,565	33,432
競輪	10,571,673,379	10,491,448,977
宅地造成	1,212,286,606	1,194,014,852
中央卸売市場	753,374,591	753,220,735
駐車場	56,305,405	47,835,155
集落排水	785,538,357	785,453,306
地域生活排水	192,548,736	187,803,336
福井駅周辺整備	439,725,763	439,725,763
合計	172,239,550,100	169,245,685,874

令和元年度 企業会計決算総括表

(単位：円)

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	10,246,235,972	8,477,819,851	1,768,416,121
	資本的収支	6,171,529,463	9,583,275,263	△ 3,411,745,800
ガス事業	収益的収支	3,155,318,008	2,274,812,327	880,505,681
	資本的収支	1,165,094	1,151,305,444	△ 1,150,140,350
水道事業	収益的収支	5,723,191,568	4,274,661,365	1,448,530,203
	資本的収支	860,067,098	2,877,043,353	△ 2,016,976,255
簡易水道事業	収益的収支	266,873,015	272,328,652	△ 5,455,637
	資本的収支	174,143,880	232,557,668	△ 58,413,788

- 収益的収支：(料金収入等)－(サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支：(企業債等)－(建設改良費や企業債元金償還金等)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、消費税資本的収支調整額や損益勘定留保資金などで補てんしています。
- 消費税を含む金額です。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、11ページに掲載しています。

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた令和元年度各会計(一般・特別・企業)決算の認定等について審査する

ため、10月5日、6日の2日間、委員会を開催しました。審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。

(各会計決算は左記の表参照)

令和2年度補正予算

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対応に関する事業等の実施や職員給与等の改定により、一般会計で6億8,112万5千円を増額、特別会計で2億3,439万6千円を増額、企業会計で372万1千円を減額するものです。

補正後の各会計の予算額は、一般会計で1,466億7,779万1千円、特別会計

で806億9,261万7千円、企業会計で280億6,600万1千円となり、全会計で2,554億3,640万9千円となります。

○一般会計補正予算

令和2年度の修学旅行について、児童・生徒の安全や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行き先を県内に変更した場合に旅行代金の一部を支援する「県内修学旅行支援事業」、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯を支援するため、ひとり親世帯臨時特別給付金を再支給する「ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業」、ふるさと納税寄附額の増加が見込まれるため、返礼品の送付等に要する事業費を増額する「ふるさと納税推進事業」などに、7億3,446万1千円を計上するものです。

また、国家公務員及び福井県職員の給与改定に関する勧告等の状況を踏まえ、職員給与等を5,333万6千円減額するものです。

条例

○福井市常勤の特別職員の給与に関する条例の一部改正について

国家公務員及び福井県職員の給与改定に関する勧告の状況を考慮し、福井市常勤の特別職員の期末手当の額を引き下げる改定を行うものです。

人事案件

○教育委員会委員

令和2年12月21日をもって任期満了となる春木伸一氏を引き続き同委員に任命することに同意しました。

市会案(議員提出議案)

〈条例〉

○福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

国家公務員及び福井県職員の給与改定に関する勧告の状況を考慮し、議員の期末手当の額を引き下げる改定を行うものです。

〈意見書の提出〉

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○北陸新幹線敦賀開業の遅れに伴う福井県並行在来線準備会社に対する財政支援を求める意見書

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介し、(委員会終了順に掲載)

決算特別委員会

《教育費》

問 平成29年度から5か年で市内全ての小・中学校のトイレの50%以上を洋式化する計画であると聞いているが、進捗状況は。また、計画の最終年度である来年度までに完了できるのか。

答 令和元年度は小学校3校、中学校2校で洋式化を実施しており、進捗率は47・9%となっている。今年度は28校での実施を予定しており、これにより進捗率は74・3%となる。また、整備は順調に進んでいることから、当初の計画どおり来年度に完了する予定である。

《経済対策について》

問 市内宿泊施設のお得な宿泊クーポン券を本県及び北陸新幹線沿線県で販売する

「おいしい福井の冬・お泊りキャンペーン」について、令和2年10月の第1回目に販売した県内分のクーポン券は、販売開始から2分で売り切れのため、県民から不公平感があるとの声が出ているが、11月に予定されている第2回目の販売では、各県への配分割合の変更や販売枚数の追加については検討しないのか。

答 今回の配分については、北陸新幹線福井開業に向け、沿線自治体の住民に越前ガニをはじめとする福井の魅力を知っていただき、今後の観光誘客につなげたいという強い思いがあり、各県3千枚ずつとしたが、2回目の販売でもすぐに売り切れることが予想されるため、販売枚数の増加や県ごとの配分枚数について検討したいと考えている。一方で、販売方法については、既に新聞広告で告知していることもあり、今から抽選販売や枚数制限を行うことは困難であるが、今後同様の事業を

実施する際は、今回の反省を踏まえ、これらの方法の導入についても検討していきたい。

建設委員会

《福井市自動車駐車場の指定管理者の指定について》

問 本町通り地下駐車場は、以前から大手駐車場や大手第2駐車場に比べ稼働率の低さが課題となっているが、何か対策は行っているのか。

答 近くにあった映画館が閉館したことや、周辺に料金の安いコインパーキングが相次いで開業したことを受け、近年、利用者が減少している。現在、近隣に新築移転した金融機関などの企業や事業所に、指定管理者と一緒に営業を行っており、今後もこうした活動を続けながら、利用者数の回復に努めていきたい。

総務委員会

《消防費》

問 新たに配備する自動心肺蘇生器はどのようなものか。また、この機械は誰でも取り扱えることができるのか。

答 自動心肺蘇生器は、救急隊員が心肺停止の患者に対して行う心臓マッサージや

人工呼吸を機械が自動的に行うものである。新型コロナウイルス感染症対策として、ウイルスの飛散防止が可能となるほか、これまで心臓マッサージ等を中断して搬送せざるを得なかった狭隘な空間においても、処置を継続しながら搬送することが可能となり、救命率の向上が期待できる。また、この機械は、救急救命の教育を受けた救急隊員だけが使用できるものである。

教育民生委員会

《財産の取得について(タブレット端末一式)》

問 GIGAスクール構想の実現に向けた公立学校情報機器購入事業によるタブレット端末整備において、取得金額は約7億4,700万円であるが、5、6年後に入れ替えるとなると再び7億円程度必要となるのか。

答 今回購入するタブレット端末は、5年以上の使用が可能であると考えているため、一度に入れ替えるのではなく計画的に替えていきたいと考えている。また、入替えに際しても、国の補助等を受けられるよう、要望していきたい。

経済企業委員会

《福井市自然史博物館分館の指定管理者の指定について》

問 他の公共施設が機能停止や廃止となる中で、指定管理料を年間約3,700万円増額するからにはしっかりとビジョンを持って取り組んでいく必要があるが、どのように考えているのか。

答 ビジョンの一つとして「自然科学教育の推進」を掲げ、福井の子どもたちに科学を学ぶことは楽しく、すばらしいことだと知ってもらいたいと考えている。指定管理者からの提案には、県が実施している福井県民衛星プロジェクトや、同プロジェクトに参加している県内企業等と呼びかけ、これらの情報や技術を発信する計画もあり、準備を進めているところである。もう一つのビジョンである「中心市街地のにぎわい創出」では、夕方以降の時間帯での取組として科学に興味を持つ来場者同士が館内で飲食をしながら語り合うサイエンスカフェといった企画や、駅前という立地を生かして地元商店街と連携したイベントの開催を計画している。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、12月7日から9日までの3日間、26人の議員が一般質問を行いました。
※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 青木 幹雄 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 北陸新幹線整備について 2 コロナ禍における冠婚葬祭について 3 福井競輪場の今後の展望について 	<p>⑪ 八田 一以 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市のまちづくりと福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺について 	<p>⑲ 寺島 恭也 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍等での移住・定住及び企業誘致について 2 安心・安全で住みよいまちづくりと登下校について
<p>② 皆川 信正 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市研修センターの廃止に伴う職業訓練の場の確保及び利用者への代替施設紹介について 2 月見5丁目の危険な空き家について 	<p>⑫ 伊藤 洋一 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 足羽川ダムについて 2 足羽ポンプ場と周辺の下水道整備について 	<p>⑳ 奥島 光晴 (新生ふくい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における児童虐待の現状と課題について 2 小学校における複式学級の授業について 3 橋南地区の浸水対策について
<p>③ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第八次福井市総合計画について 2 財産有効活用民間提案制度について 3 北陸新幹線について 	<p>⑬ 近藤 實 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少は心や価値の問題について 2 家庭教育支援について 3 美山庭球場「ウイंक」について 4 自然史博物館分館セーレンプラネットについて 5 財政運営について 6 下水道事業経営戦略と一般会計繰出金について 7 下水道事業会計の一般会計繰入金の清算について 8 下水道事業会計の決算書について 9 人件費について 10 総務部長等の人事異動について 	<p>㉑ 玉村 正人 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 すまいるオアシスプラン2021(素案)について 2 第2次福井市都市交通戦略(素案)について
<p>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市行政のデジタル化について 2 市庁舎の設備について 3 道路整備について 4 河川敷の整備について 	<p>⑭ 水島 秀晃 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 移住・定住及び観光の面から見る空き家の利活用について 2 福井市のイメージロゴ「福いいネ!」について 	<p>㉒ 榊原 光賢 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第4次福井市障がい者福祉基本計画(素案)について 2 GIGAスクール構想の実現に向けた取組について
<p>⑤ 田中 義乃 (新生ふくい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中小企業支援について 2 中心市街地について 3 おいしい福井の冬・お泊りキャンペーンについて 4 福井の餅文化について 	<p>⑯ 福野 大輔 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における少子化対策について 2 コロナ禍における結婚について 3 コロナ禍における米の需要減について 4 有害鳥獣対策について 	<p>㉓ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスへの対応について 2 日本学術会議の任命拒否問題について 3 北陸新幹線の工事遅延と福井市政について 4 森田地区の公立保育園の廃園について
<p>⑥ 津田 かおり (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境問題について 2 児童・生徒1人1台端末の効果的な活用について 3 産後のサポートについて 	<p>⑰ 中村 綾菜 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 SDGsについて 2 Society5.0と「スーパーシティ」構想及びDX(デジタルトランスフォーメーション)の促進について 3 産前産後ケア、子育て支援について 	<p>㉔ 岩佐 武彦 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史を生かしたまちづくりについて 2 JR越美北線の利用拡大について 3 ふくい県民応援チームと本市との関わりについて
<p>⑦ 堀江 廣海 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちなかの賑わいと郊外のやすらぎについて 	<p>⑱ 菅生 敬一 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プレミアム付商品券について 2 新学校給食センターについて 3 学校防災について 4 学校教育でのUDフォントの活用について 	<p>㉕ 泉 和弥 (新生ふくい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルの見直しについて 2 第2次福井市都市交通戦略(素案)について
<p>⑧ 藤田 諭 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における誹謗中傷、風評被害への対策について 2 コロナ禍における自殺防止対策について 3 コロナ禍におけるひきこもり対策について 4 鳥獣害対策について 	<p>⑲ 池上 優徳 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市の農林水産物の販売戦略について 2 地域部活動について 	<p>㉖ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 深刻化する8050問題の現状と対策について 2 障がい者雇用における特定求職者雇用開発助成金の問題点について 3 福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発事業において再開発組合が進めるにぎわい創出案と福井市が目指すまちづくりの方向性について
<p>⑨ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市における社会資本整備について 2 本市のスポーツ政策について 3 自転車を生かしたまちづくりについて 	<p>⑩ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症について 2 小学校教育の充実と学校の統廃合について 3 核兵器禁止条約の批准について 	

回答

突然の発表に対し、大変遺憾であり、強い憤りを覚えている。この事態を受け、本市は国と県選出国会議員に対し予定どおり開業するよう緊急要望を行ったほか、自民党北陸新幹線整備プロジェクトチームに出席し、令和5年春開業の実現を再度強く要請した。

また、福井駅先行開業については、多額の経費がかかるなど課題が多いため、本市としては敦賀までの開業が予定どおり実現できるよう国等に働きかけていく。

質問

令和5年春開業予定の北陸新幹線(金沢―敦賀間)の工期が1年半程度遅延し、工事費は2,880億円増大するとう鉄道・運輸機構の報告を受け、市長はこの事態をどのように考え、行動しているのか。また、福井駅先行開業についての考え

質問

北陸新幹線の工期遅延と事業費の増大について



あおき みきお
青木 幹雄 議員
一真会

一般質問要旨



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

福井市研修センターの廃止に伴う職業訓練の場の確保及び代替施設について

質問

研修センターの廃止に伴う新たな職業訓練の場の確保について、利用日時や教材の出し入れ等に関する課題を3月までに責任を持って解決すべきと考えるが市の見解は。また、年間約7万人の利用者への代替施設の紹介は市の責任で行うべきと考えるがどうか。

回答

本市では、これまで県や職業訓練団体と現状の確認や条件のすり合わせを行っており、令和2年11月には県と市で移転に向けた具体的なスケジュール等を共有して協議を進めることを確認した。今後も県や団体と協議を進めながら、4月には新たな拠点で活動できるよう取り組んでいく。

また、代替施設については、団体向けに開催した説明会において紹介しており、今後も代替施設に関する個別の問合せに丁寧に対応していく。



のじま ゆき
野嶋 祐記 議員
志政会

第八次福井市総合計画について

質問

第八次総合計画の計画期間は何年か。また、計画の策定に当たり、審議会委員の人選や人数はどのように考えているのか。加えて、具体的な策定スケジュール、実施計画の策定や新年度当初予算編成への影響について伺う。

回答

計画期間は令和4年度から令和8年度までの5年間とし、審議会委員は市議会議員や学識経験者、関係行政機関の職員などから30人程度を委嘱する予定である。また、策定スケジュールについては、4月から審議会を開催し、夏頃に答申を頂いた上でパブリック・コメントを実施して12月定例会に議案を提出したいと考えている。

令和4年度当初予算は、策定中の実施計画の内容を踏まえて編成するため厳しいスケジュールになるが、部局間の連携を密にし、実効性のある計画策定及び予算編成に取り組む。



さかい よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

脱ハンコの取組について

質問

政府はデジタル改革を推進するため、行政手続での押印を原則廃止する方針であるが、本市において押印を必要とする申請書や手続のうち、既に押印を廃止、または廃止する予定の文書はどの分野でどの程度あるのか。

回答

現在、市民の皆様から市に提出いただく申請書類等は約4,200様式あり、そのうち約600様式が押印不要となっている。今後は、法律で義務付けられているものなどを除いた約3,800様式を見直しの対象として調査・検討し、今年度末までに対応方法を取りまとめ、た上で令和3年4月1日から実施していきたいと考えている。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
新生ふくい

福井の餅文化発信について

質問

本市のお餅の消費量は全国トップクラス。お餅屋さんや伝統を守り、それぞれのお店の名物となる特徴のあるお餅を作っている。特に、黒蜜ときな粉のあべかわ餅は福井県独自のものであり、水ようかんと同様に福井の特産品として売り出す可能性と全国への餅文化発信について伺う。

回答

福井では身近な食べ物として餅文化が発展し、黒蜜ときな粉のあべかわ餅は福井特有の文化となっている。西武福井店で毎年開催している物産展では、平成29年度からあべかわ餅を販売し、多くの方々にご堪能していただいている。また、福井県アンテナショップでも期間・数量限定で販売し好評を得ており、福井に関心を持っていただくきっかけになると考えている。今後、北陸新幹線福井開業に向け、餅文化も含め、地域資源を活用した魅力ある商品の認知度向上、販路拡大を進めていく。



つだ かおり
津田 かおり 議員
公明党

地球温暖化対策について

質問

最近の「狂暴化する気象」を見るにつけ、地球の温暖化が取り返しのつかないところまで来ているのではないかと痛感する。中核市である本市が県内17市町の中でいち早く「2050年CO2排出実質ゼロ宣言」を表明し、脱炭素社会の構築に向けた取組をさらに推進してはどうか。

回答

本年度策定予定の第4次福井市環境基本計画において、2050年CO2排出実質ゼロを目指すことを表記したいと考えている。

また、CO2を排出しない水素エネルギーの利用促進など具体的な取組を行い、次世代に誇れる「環境にやさしい持続可能なまち・ふくい」の実現を目指し、計画期間内のできるだけ早い時期にゼロカーボンシティの宣言を行いたいと考えている。

まちなかの賑わいと郊外のやすらぎについて



ほりえ ひろみ
堀江 廣海 議員
一真会

質問

このたび、第2次福井市都市交通戦略の素案が示されたが、郊外部の暮らしやすさの改善にどのように寄与していくのか。また、拠点の形成や便利な公共交通をどのように実現していくのか。

回答

第2次交通戦略では、地域拠点を設定し、その圏域内での日常生活を支える機能の誘導に取り組んでいくとともに、地域拠点を接続するフィーダー交通を整備し、各地区から地域拠点へ移動しやすい環境づくりを進めていく。
また、地域と市中心部を結ぶ拠点として、地域拠点のほかに、主要な駅やバス停、総合病院や大型商業施設など、公共交通機関相互や自家用車、自転車からの乗り継ぎに適した14か所を乗継拠点に設定し、移動のしやすさを向上させる取組を推進していく。

コロナ禍における自殺防止対策について



ふじた さとし
藤田 諭 議員
志政会

質問

本市では、福井市自殺対策計画の下、様々な施策に取り組んでいるが、自殺の現状と対策について伺う。

回答

本市の自殺者数は、平成29年45人、平成30年39人、令和元年37人と減少していたが、令和2年は10月末現在で29人と前年同月末に比べ増えている。そこで、今年度は精神科医師や弁護士等の専門職がワンストップで相談に応じる、悩みごと総合相談会を年4回に拡充し実施している。また、新たに臨床心理士による相談を月1回実施し、心の不安の軽減や鬱病等への早期対応を図っている。市民からの電話等による相談には随時対応し、医療等の必要性を判断した場合は、専門機関につなぐ等の対応を取っている。
今後も保健、医療、福祉、教育、労働その他関係団体と現状や課題の整理、分析を行うなど連携強化を図り、自殺対策の取組を推進していく。

自転車を生かしたまちづくりについて



むらた こういち
村田 耕一 議員
市民クラブ

質問

人や環境に優しい自転車の利用促進を図ることは今後ますます重要になると考える。県内には広域的なサイクルリングコースが整備されているが、さらなる自転車の利用促進に向け、県や嶺北地域の自治体と広域連携した取組が必要であると考えらるがどうか。

回答

県が嶺北地域に設置している10か所のサイクルリングコースのうち、本市には永平寺福井自転車道等の3ルートがある。また、これまで県や近隣市町と48か所の自転車の駅を設置し、昨年度は国や県、近隣市町、企業等と連携してサイクルリングイベントを開催した。今後は、引き続き県や近隣市町と連携し走行ルートやトイレ、観光地の見どころなどを掲載したマップを充実させ広報するとともに、新たな自転車の駅を設置するなどの取組も進めていく。

濃厚接触者のPCR検査を0円に



やまだ ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

質問

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者としてPCR検査を受ける場合、診療料や検体採取料、院内トリージ実施料などの自己負担がある。本市でも敦賀市と同じように必要な費用は市で負担し、自己負担額0円で検査を受けられるようにすべきと考えるがどうか。

回答

現在、インフルエンザの流行に備えて、発熱等の症状がある場合は地域の医療機関に連絡した上で受診し、医師の判断によりインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の診断に必要な検査を行っている。そのため、新型コロナウイルス感染症の検査料を除く保険診療分は自己負担をしていただくこととなる。
濃厚接触者等に対して検査日時を調整する際には、自己負担を伴うことを引き続き丁寧に説明し、理解を求めていく。

福井市のまちづくりと福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺について



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

質問

福井北JCT・IC周辺の開発や産業拠点づくりを県と調整して推進するよう期待するが、本市の所見は。また、東藤島地区内の勝山街道の拡幅事業を第八次福井市総合計画の「都市計画道路整備事業」の最優先事業として計上することを検討いただきたい。

回答

当該区域内では物流施設が操業を開始したほか、工場等の立地に向けた土地利用調整に取り組んでいる案件もある。今後も、産業用地として利用するため、県の関係部局と連携しながら土地利用調整を行い、企業立地の実現に向けて取り組んでいく。
また、勝山街道のうち都市計画道路松岡菅谷線の東藤島地区における未整備区間の整備については、道路の規格等を改めて整理する必要があり、交通量調査の結果を踏まえた上で第八次福井市総合計画に計上していきたいと考えている。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



いとう よういち
伊藤 洋一 議員
志政会

足羽川ダム及び足羽ポンプ場について

質問

令和2年11月に工事着工した足羽川ダムは足羽川、日野川、九頭竜川の下流域における洪水災害の軽減を目的としている。完成後の相乗効果はとれくらくいか。また、令和10年度までに更新し、供用開始予定の足羽ポンプ場の整備効果は。

回答

足羽川では福井豪雨後に県が河床掘削等を実施し、福井豪雨と同規模の雨に対して破堤地点で約1.6m、ダム完成後はさらに約0.9mの水位低下が見込まれる。日野川、九頭竜川では河川整備計画に位置づけられた各事業が完成すると、おおむね八十年に一度の降雨に対して平野部では河川の氾濫等による浸水被害はなくなるの見込まれる。

また、新たに整備する足羽ポンプ場は、現在の排水能力を約1.8倍上回り、時間雨量43.1mmの降雨に対応できるものとなる。さらに、ポンプ場と雨水貯留管を結び下水道管を整備することで、木田地区の浸水被害が大幅に軽減されるものと考えている。



こんどう みのる
近藤 實 議員
無所属

人口減少は「心や価値の問題」について

質問

東京都立大学の山下祐介教授は「人口減少は心や価値の問題であり、教育が鍵を握る。小・中学校は市町村が現場である」と述べており、その通りだと考える。小・中学校で結婚の価値についての前向きな教育や取組を行うことはできないのか。

回答

学校では、家庭科の授業においては家族の一員としての関わり方を、保健体育の授業においては第二性徴に関する妊娠の仕組み等を教えている。自己の生き方を見詰め、結婚を含めて将来設計を考えることもキャリア教育の一つとして考え、児童・生徒が自分自身の将来を主体的に設計していくことができるよう教育の充実を図っていく。



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
一真会

移住・定住と観光の面から見る空き家の活用について

質問

移住者・定住者への空き家購入費や家賃の補助等はあるのか。また、農業、林業、水産業に従事しながら田舎暮らしをしたいという都会の若い世代に対する空き家を活用した移住促進策は。

回答

空き家の購入補助については、1棟当たり居住環境再構築区域では60万円、それ以外の区域では30万円である。リフォーム補助については、対象工事費の5分の1で上限額は居住環境再構築区域では60万円、それ以外の区域では30万円である。家賃補助については、月額家賃の3分の1で上限額は2万5千円、補助期間は最大24か月間としている。

また、移住促進策としては、移住者を積極的に受け入れる中山間地域の集落等を認定する事業などがある。認定を受けた集落等では、空き家を活用したお試し居住体験の実施など、将来的な移住につながる活動に取り組んでいく。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

コロナ禍における少子化対策について

質問

本市の今年度の妊娠届出数は昨年度と比べてどの程度減少しているのか。また、子どもを持つことを考えている人に対する経済的な支援を拡充すべきと考えるが本市の所見は。

回答

今年度の妊娠届出数は、10月末で昨年度と比べ125件、9.9%減少している。本市では、昨年度末に第二期福井市子ども・子育て支援事業計画を策定し、安心して子どもを産み育てられる環境を整え、多くの子どもたちの笑顔があふれる活気あるまちを目指している。この計画に基づき、妊娠期、出産期、子育て期、それぞれの期間を通じた切れ目ない安定的な子育て支援を実施している。一過性の経済的な支援ではなく、長期にわたる安定的な子育て支援を厚く実施することで、結婚や子育てに夢を持てる環境を整え、子どもを持ちたいという気持ちを持てるようにしていく。



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
無所属

産前産後ケアと子育て支援の充実を

質問

産後ケア事業は今後どのように行っていくのか。また、産後の身体と心のケアにも対応し、子育て環境への支援も含めた包括的なケアができる事業を行うかどうか。

回答

本市では、全ての妊婦と面談する中で、支援が必要な妊婦を把握し、産前からの訪問や電話等による支援を通して、産後の状況に応じた継続的な支援を行っている。今後も必要な方に適切な支援ができるように努めていく。

また、産後の育児支援や、子育て家庭の家事援助など、産後の母親に対し、多面的な支援を行っている。今後、実施事業所と連携を密にし、必要に応じ、ほかの子育て支援事業を含めた情報の提供や、サービスの実施につながるなど、産後の包括的なケアに努める。

地域部活動について



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

質問 学校における働き方改革推進本部から打ち出された、部活動改革に関する具体的な方針の「部活動の段階的な地域移行」について、教育長の所見は。

回答

部活動の地域移行に当たっては様々な課題があるため、国は来年度から休日の地域部活動を推進するモデル地域を全国に募り、課題を洗い出し、県や市町、学校や各種連盟と課題解決の方策を探っていくとしている。

部活動は教育活動の一環であり、専門的な技術指導だけでなく、教育的見地からも適切な指導ができる人材が求められる。また、指導者への謝金や活動場所の使用料などの費用が発生することが考えられ、自治体や保護者の費用負担の在り方も課題である。本市としては、モデル地域での実践研究で明らかにした課題を基に、県や他市町、学校や各種連盟等と協議するとともに、今後の国や県、モデル地域の動向を注視していく。

学校防災について



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

質問 宮城県石巻市立大川小学校の津波訴訟の判決が確定して1年がたった。教育長はこの判決をどのように受け止めたのか。また、この判決を受けて各学校にどのような指示をしたのか。今後危機管理マニュアルの見直しはどのように進めていくのか。

回答

東日本大震災の津波により子どもたちの命が失われたことに対する判決には、震災前の学校の防災体制に不備があったとする内容があった。その判決を重く受け止め、児童・生徒の命を守る立場として、より一層、気を引き締めなければならぬと感じている。

また、学校管理職研修の際に、大川小学校訴訟判決の情報を共有を行い、学校は災害時の責任を負っていることを自覚すること、学校内における指揮系統の見直しを指示した。被害想定区域には変更があったなどの場合からは、その都度教育委員会から危機管理マニュアルの修正を指示しており、今後も関係部局と連携し、漏れないようにしていく。

コロナ禍等での移住・定住について



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

質問 2019年度の移住相談件数の集計において、福井県は都道府県別で過去最高の全国7位を記録し、福井への興味は増していると考えられる。

本市への移住相談の現状とこれまでの取組や成果ならびに北陸新幹線福井開業が遅延した場合、移住定住施策への影響はどうか。

回答

コロナ禍の中、令和2年8月からオンライン移住相談を開始した。また、令和2年10月からは全国からの移住者を対象とした移住支援金制度の運用を新たに開始したこともあり、本市への移住相談件数は令和2年11月末時点で141件と、令和元年度同時期と比較して約3倍増加している。

北陸新幹線福井開業による東京圏へのアクセス向上は、移住検討者へのアピールポイントとして大変有効であり、開業が遅延した場合は、アピール効果が小さくなることから、移住定住施策への影響はあるものと考えている。

コロナ禍における児童虐待について



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新生ふくい

質問 令和2年度は経済的にも追い詰められ、世帯収入も大きく減少し家族関係も荒み、社会的つながりも希薄になり孤独になることで、子どもたちが心理的虐待を受けるのではと危惧する専門家もいる。本市では、どのように把握し、また、どのように支援していくのか。

回答

虐待を早期に発見し子どもを守るためには、日頃から子どもと接する機会の多い関係機関だけでなく、社会全体で一丸となつて取り組むことが大切であると考える。

本市においては、日頃から地域の児童委員や学校・保育園などと連携しながら、児童虐待の発生予防や早期発見に努めており、現下のコロナ禍では、経済的支援を強化している社会福祉協議会や自立サポートセンターよりよいなどの関係機関とより一層連携し、家庭生活の安定を図ることが、児童虐待防止につながるものと考えている。

地域公共交通網の安定運行どう守る?



たまむら まさと
玉村 正人 議員
市民クラブ

質問 再び新型コロナウイルス感染症が拡大する中、公共交通事業者は、引き続き極めて厳しい経営状況だと思われ、利用者の推移や経営状況をどう見ているのか。また、今後の公共交通安定運行維持のための財政支援の必要性をどのように考えているのか。

回答

令和2年10月時点のえちぜん鉄道、福井鉄道における利用者数は令和元年10月の8割程度となつている。定期の利用はほぼ令和元年並みに戻りつつあるが、定期以外の利用は7割程度と聞いており、京福バスも同様と推測される。

令和2年9月補正予算によるえちぜん鉄道、福井鉄道、京福バスなどへの支援額は、各交通事業者の年間減収見込額を基に算定しているが、今後、再び緊急事態宣言や外出自粛要請等があった場合には、国の動向も注視しながら、改めて県、沿線市町による支援を検討、協議していきたい。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



さかきばら みつよし
神原 光賀 議員
一真会

福井市障がい者福祉基本計画(素案)について

質問

発達障がい児支援の充実について、第1期障がい児福祉計画期間中の実績を見ると、放課後等デイサービスの利用者数と利用日数がかなり増えており、計画と実績の数値に大きな差が生じているが、本市としてどのように考えているのか。

回答

放課後等デイサービスの利用等の計画と実績との差が生じていることについては、3年前の計画策定段階において、新規の利用者数が3年間で30人増加すると見込んでいたが、実際は約280人増加している。

その要因としては、保護者の発達障がいに対する理解が進み、診断を受ける児童の増加と障害児通所支援サービスの周知によるものと考えている。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

新型コロナウイルスを乗り越えるため中小業者支援を

質問

持続化給付金の再支給など中小業者への給付を強めるよう国に求めるべきではないか。特に市競輪場の食堂などのみなし法人は、実態は自営業者だが持続化給付金の対象とならない。みなし法人も、実態に応じて持続化給付金の対象とするよう政府に求めるべきではないか。

回答

新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の経営については今後も厳しい状況が続くことが予想されており、中核市市長会において、持続化給付金の支援の迅速化、給付対象要件の緩和、継続的な給付を要望しているところである。

なお、みなし法人については、その構成員である事業者が個別に給付の要件を満たす場合には申請を行うことが可能であるとされており、個別の事業者が申請するものと考えている。



いわさ たけひこ
岩佐 武彦 議員
一真会

JR越美北線の利用拡大について

質問

開業60年を迎えたJR越美北線の利用拡大に向けてどのような利用促進策に取り組んでいるのか。また、各駅において案内看板、パーク・アンド・ライド駐車場の整備が必要と考えるが、今後の対応について伺う。

回答

越美北線の利用促進のため、関係団体、市民の代表及び沿線自治体と共に、福井・大野市民を対象に、越美北線を利用したツアーの開催、イベント会場や道の駅九頭竜で使える買い物補助券の配布、九頭竜新緑・紅葉まつりに合わせた臨時列車の運行などを実施している。

また、第2次都市交通戦略において、駅の見える化の取組として、鉄道駅への案内サイン等の整備を施策の一つとして位置づけている。さらに、パーク・アンド・ライド駐車場の整備は利用者の増加につながることから、越美北線の駅においても、関係者と協議し利用促進に努めていく。



いずみ かずや
泉 和弥 議員
新生ふくい

避難場所の提供に関する協定や災害時応援協定の締結について

質問

令和2年8月に大野市の企業と地区防災会が、豪雨などの浸水被害で住民が指定避難所に避難できない場合、社屋を一時避難場所として提供する協定を結んだ。本市でも市の1次避難所は遠く歩いていけない、近くにつくってもらえないかとの声がある。本市での取組を伺う。

回答

既に7地区が民間企業等と避難場所の提供等に関する協定を締結しており、現在3地区で協議中である。

地域と民間企業等との避難場所の提供に関する協定締結は、避難所での混雑を避けることができ、新型コロナウイルス対策としても有効であるほか、地域住民の迅速な避難が可能となる。また、協定締結に伴う避難所開設・運営訓練等を実施することで、自主防災組織の活性化にもつながることから非常に重要であるとされており、今後積極的に支援していく。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

チアダンス専用ホールの整備について

質問

福井商業高校チアリーダー部「JETS」の活躍は、映画やテレビドラマの原作にもなるなど全国的に知名度も高い。

市街地再開発ビルにチアダンスの専用ホールを設け、再開発の目玉としてはどうか。

回答

福井駅前電車通り北地区A街区の商業部会では、フードホールの計画が進んでいるため、A街区のスケジュールの中で計画を見直していくことは大変難しいと考える。

しかしながら、JETSは映画やドラマ「チア・ダン」で全国的な知名度が高く、福井の大きな魅力の一つと捉えており、ホールの設置を一つのアイデアとして、現在計画されている各再開発事業の関係者等と協議していく。

議案等の審議結果				
(12月定例会)				
議案番号	件名	審議結果	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
第92号議案	令和元年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月30日	認定	●
第93号議案	令和元年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第94号議案	令和元年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	認定	●
第95号議案	令和元年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第96号議案	令和元年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	〃	認定	●
第97号議案	令和2年度福井市一般会計補正予算	12月17日	原案可決	●
第98号議案	令和2年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	
第99号議案	令和2年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃	
第100号議案	令和2年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	
第101号議案	令和2年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	
第102号議案	すかつとランド九頭竜の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第103号議案	すこやかドームの設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第104号議案	福井市学校設置条例の一部改正について	〃	〃	
第105号議案	福井市研修センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	〃	〃	●
第106号議案	福井市みやま長寿そば道場「ごつおさん亭」の設置及び管理に関する条例の廃止について	〃	〃	●
第107号議案	福井市そば工房木ごころの設置及び管理に関する条例の廃止について	〃	〃	●
第108号議案	福井市治水記念館の設置及び管理に関する条例の廃止について	〃	〃	
第109号議案	財産の取得について(タブレット端末一式)	〃	〃	
第110号議案	財産の取得について(タブレット保管庫一式)	〃	〃	
第111号議案	福井市自動車駐車場の指定管理者の指定について	〃	〃	●
第112号議案	福井市一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の指定管理者の指定について	〃	〃	
第113号議案	福井市自然史博物館分館の指定管理者の指定について	〃	〃	●
第114号議案	福井市東山健康運動公園の指定管理者の指定について	〃	〃	
第115号議案	福井市少年自然の家の指定管理者の指定について	〃	〃	●
第116号議案	財産の処分について(旧福井市ジュニアグラウンド)	〃	〃	
第117号議案	令和2年度福井市一般会計補正予算	11月30日	〃	●
第118号議案	令和2年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	●
第119号議案	令和2年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃	●
第120号議案	令和2年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	●
第121号議案	令和2年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	●
第122号議案	令和2年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃	●
第123号議案	令和2年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	〃	〃	●
第124号議案	令和2年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃	〃	●
第125号議案	令和2年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	〃	〃	●
第126号議案	令和2年度福井市ガス事業清算特別会計補正予算	〃	〃	●
第127号議案	令和2年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃	●
第128号議案	令和2年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃	●
第129号議案	令和2年度福井市簡易水道事業会計補正予算	〃	〃	●
第130号議案	福井市職員の給与に関する条例及び福井市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第131号議案	福井市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第132号議案	令和2年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	●
第133号議案	令和2年度福井市一般会計補正予算	12月17日	〃	
第134号議案	教育委員会委員の任命について	〃	同意	
第32号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福井市一般会計補正予算)	〃	承認	●
第33号報告	弾力条項適用の報告について(令和2年度福井市競輪特別会計)	11月30日	受理	
第34号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃	
市会案第8号	福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	〃	原案可決	●
市会案第9号	北陸新幹線敦賀開業の遅れに伴う福井県並行在来線準備会社に対する財政支援を求める意見書について	12月17日	〃	●

請願・陳情等の審議結果				
(12月定例会)				
請願・陳情番号	件名	審議結果	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
請願第5号	75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書提出について	12月17日	不採択	●
請願第6号	日本学術会議の任命拒否を撤回し、105名全員の任命を求める意見書提出について	〃	〃	●
請願第7号	日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書提出について	〃	〃	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 退…退席
 ※原則議長(見谷喜代三)は採決に加わりません。

議案番号	審議結果	一真会											市民クラブ				志政会			公明党		新生ふくい		日本共産党		無所属									
		皆川	見谷	青木	今村	堀江	八田	福野	池上	水島	寺島	神原	岩佐	堀川	玉村	片矢	村田	酒井	加藤	石丸	野嶋	藤田	伊藤	下畑	菅生	津田	奥島	田中	泉	鈴木	山田	中村	近藤		
第92,94,96号議案	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第93,95号議案	原案可決及び認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第97,113号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第105~107,111,115号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第117~132号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第32号報告	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
市会案第8号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
市会案第9号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第5,6号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第7号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

議会日誌 (令和2年10～12月)

10月5日	決算特別委員会 (～6日)
6日	全国競輪主催地議会議長会役員会 (書面議決)
8日	北信越市議会議長会理事会 (書面議決)
19日	北信越市議会議長会評議員会 (書面議決)
21日	令和2年度中核市議会議長会第2回総会 (書面議決)
22日	第127回全国競輪主催地議会議長会臨時総会 (書面議決)
26日	福井県市町議会議員合同研修会
27日	新型コロナウイルス等影響対策特別委員会
30日	議会運営委員会
	定例福井県市町総合事務組合議会
11月2日	第49回福井県自治会館組合議会定例会 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会
4日	福井県市議会議長会中央要望活動 (～5日) (東京都)
5日	全国市議会議長会 第221回理事会・第109回評議員会合同会議 全国市議会議員互助会 第4回代議員会
6日	福井市議会市内視察
10日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会 (あわら市)
24日	議会運営委員会、議員全員協議会
26日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、 第179回定例会 (あわら市)

12月定例会

11月30日	議員全員協議会、本会議
12月1日	議会運営委員会
7日	本会議 (一般質問)
8日	本会議 (一般質問)
9日	本会議 (一般質問)
10日	総務委員会、建設委員会
11日	教育民生委員会、 経済企業委員会
15日	議会運営委員会
17日	議員全員協議会、本会議



編集後記

12月定例会では、議場において全員がマスク着用やソーシャルディスタンスを保つことに加えて、新たに演壇等への飛沫感染防止用アクリル板の設置や発言者ごとの消毒など、徹底した新型コロナウイルス感染予防策を講じました。

一般質問では26人もの議員が質問を行い、感染症対策のほか、北陸新幹線整備や再開発事業、地域振興策など多岐にわたる分野において活発な議論が行われました。今後も市民の皆様のために、議会活動を通して市政発展のために尽力致してまいります。

(藤田・伊藤)

一般質問の録画映像をスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

本会議	定員97人 うち車イス6席
常任委員会	総務、建設、教育民生、経済企業
議会運営委員会	
特別委員会	新型コロナウイルス等影響対策、予算
議員全員協議会	

傍聴をご希望される方へ

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止に向けて、一定の間隔を確保してご着席いただくため、当分の間、傍聴席への入場を下記のとおり制限させていただきます。

- ・議場：40人まで うち車イス4席 (本会議及び議員全員協議会など)
- ・各委員会室：2人まで (常任委員会など)

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506



市議会HPはこちらから

福井市議会 日程

検索

次回は
3月定例会

です
日程は
ホームページに
掲載します